

Majo 2010

# La Harmonio

N-ro 224

Tutlanda Organo de Rondo Harmonia  
Eldonejo : Rondo Harmonia

## << 目次 >>

2010 年 R H 全国協議会の報告 2~9  
2010 年度 R H 組織委員選挙結果  
財務報告  
La Harmonio 発行と情宣活動  
ホームページ  
組織委員任期・会費・広報の変更



Bukedo

ウィーン・エスペラント博物館訪問記 大澤孝明さん(奈良)10~13  
枕詞について(エスペラント文) 竹森浩俊さん(奈良)14~17  
ねこの手脳トレエスペラント部発 山口百合子さん(横浜)18~19  
エスペラント界の行事・国内海外情報 20~23

## 2011 年 1 月から組織委員の任期や会費などを変更します

3 月 14 日の全国協議会にて下記のとおり決まりました。(7~9 参照) ご意見は、書記局(24 参照)宛てお寄せ下さい。

全国協議会を毎年から 3 年毎の開催とします。それに応じて、組織委員の任期を 1 年から 3 年に変更します。

会費を La Harmonio 電子版で年 2400 円から 1200 円、La Harmonio 郵送版で年 3600 円から 2400 円に値下げします。

発行物は本誌 La Harmonio に一元化し、La Harmonio の電子版は会費納入者以外にも公開します。(今年度より実施)

## 2010 年度 R H 全国協議会

2010 年度 R H 全国協議会の審議結果を報告します。

日時 : 3 月 14 日(日)午後 2 時~4 時  
場所 : 貸会議室「エスペラント会館」(京都市下京区西洞院)  
参加者(敬称略) 4 名  
杉山 茂喜(静岡)、笹沼 一弘(滋賀)、森川 和徳(京都)  
竹森 浩俊(奈良)

## R H 組織委員選挙結果

Elektiĝis membroj de la Direktiva komitato de RH por 2010.

2010 年度の R H 組織委員(R H の指導部)は信任投票の結果です。投票資格者(2009 年度 R H 会費を支払った方)の投票用紙が全国協議会にて開封されました。その結果は次のとおりです。

- ・有権者.....63 人(2 月末まで)
- ・投票者.....45 人(投票率 71%、これは高い投票率です)
- ・投票結果 下表のとおり、3 名全員が信任されました。  
(信任の判断は、過半数の 23 票以上)

氏名 (あいうえお順)	信任	不信任	保留
笹沼 一弘 (滋賀)	45	0	0
竹森 浩俊 (奈良)	45	0	0
森川 和徳 (京都)	45	0	0

## エスペラント・ミニ大学

Esperanto-Universitat/et/o okazos en junio 2010.

第 58 回関西エスペラント大会(奈良市)にて開催。  
日時 : 6 月 5 日(土)午後 1 時 30 分~2 時 40 分  
場所 : 奈良県文化会館(奈良市、興福寺の北側)  
テーマ : Tergloba Medio kaj Energio  
(地球環境とエネルギー) 大澤 孝明

Kiamaniere konservi datumojn longatempe?  
(データの長期間保存方法について) 森川 和徳

## 財務報告 Financo

担当 森川 和徳

### 1. まとめ

- (1) 2009年の会費納入者は2008年より6名減の64名。  
 (2) 納入者減少に伴い収入が減ったが、支出も減り、約7万円の黒字となった。

### 2. R H 会費納入者数

納入時期	1989	1994	2005	2006	2007	2008	2009	2010
08.12.31 まで	136	100	69	70	70	64	25	7
09.12.31 まで						4	33	15
10.04.30 まで						2	6	33
計	136	100	69	70	70	70	64	55

計 62 名分

### 3. 2009 年度 (2009 年 1 月 ~ 12 月) の決算

	予算			決算		
	会費(円)	人	(円)	人	(円)	
収入						
一般会費 (郵送)	3,600	25	90,000	19	68,400	
一般会費 (PDFダウンロード)	2,400	35	90,000	34	81,600	
家族会費	1,800	10	18,000	9	16,200	
カンパ (注1)					9,200	
計	<b>198,000</b>				<b>175,400</b>	
支出						
La Harmonio 発行費用 (4号分, 注2)			50,000		38,590	
インターネット ドメイン維持 (注3)			27,615		27,615	
日本大会・R H 主催分科会費用			5,000		1,000	
2009 年度組織委員選挙費用			7,000		7,840	
2009 年度組織委員会書記局経費			3,000		0	
2009 年度財務局経費			10,000		3,715	
2009 年 3 月全国協議会会場費			2,000		1,500	
同窓会員向け Informilo 発行 (注4)			30,000		25,610	
計			<b>134,615</b>		<b>105,870</b>	
差し引き (余剰金)			<b>63,385</b>		<b>69,530</b>	

### 注1) カンパ

市川 智さん 9200 円 (2009 年 5 月 12 日)

### 注2) La Harmonio 発行費用 (219~222 号、4 号分)

印刷・製本費 (インク、紙、製本) 21,720 円、発送費 16,870 円

### 注3) インターネット・ドメイン維持:

2009 年分レンタルサーバー使用料 23,940 円  
ドメイン (esperanto.jp) 更新費用 3,675 円

### 注4) 同窓会員向け Informilo 発行:

発送費 80 円 × 246 通、はがき用紙 1650 円、その他

### 4. 2010 年度 (2010 年 1 月 ~ 12 月) の予算

2010 年度も 4 万円以上の黒字の予定。

	会費(円)		人	(円)
収入				
一般会費	3,600	20		72,000
一般会費 (PDF)	2,400	35		84,000
家族会費	1,800	10		18,000
計				<b>174,000</b>
支出				
La Harmonio 発行費用 (4号分)				80,000
インターネット ドメイン維持 (注)				27,615
2010 年度組織委員選挙費用				7,000
2010 年度組織委員会書記局経費				3,000
2010 年度財務局経費				10,000
2010 年 3 月全国協議会会場費				1,400
計				<b>129,015</b>
差し引き				<b>44,985</b>

### 注) インターネット・ドメイン維持:

2010 年分レンタルサーバー使用料 23,940 円  
ドメイン (esperanto.jp) 更新費用 3,675 円



Dosieroj

(終)

## La Harmonio 発行と情宣活動 Informado

担当 森川 和徳

## (1) La Harmonio 4回発行・郵送 会費納入者のみ送付

号	発行月	頁数	主な内容 (敬称略)
220	2009年5月	12	*2009年RH全国協議会報告 *脳トレエスペラントクラブ(山口百合子)
221	2009年8月	20	*関西大会でエスペラント・ミニ大学を開催 *ミニ大学「学習指導要領と日本の教育改革」(笹沼一弘) *ニュージーランドでエスペランティストと会って(柴山純一)
222	2009年12月	20	*2010年RH組織委員選挙 立候補受け *第96回日本大会で「ミニ大学」を開催 *17年ぶりと30年ぶりの再会と(山口百合子) *ミニ大学「感電対策」(森川和徳)
223	2010年2月	16	*2010年RH全国協議会の案内 *RH組織委員立候補者の選挙公報 *ミニ大学「感電対策」(森川和徳)

連載 エスペラント界の行事、国内・海外情報、ホームページ紹介

## (2) メールマガジン Informo-letero 2回発行

発行日	32号 2009年4月5日 33号 2009年8月12日
送り先	約120名 会費納入者50名程度、同窓会員60名程度 RH主催分科会参加者10名程度

## (3) 同窓会員向け Informilo 郵送 1回発行

発行日	2009年8月10日						
Informilo内容	A4両面にRHやエスペラント界の情報を掲載。住所変更などの連絡のため、返信用はがきを同封。						
発行年	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009年
発送先数	503	328	298	279	265	258	246通( )
宛先不明数	119	12	10	13	7	5	2通
返信用はがきの返送	64	25	24	28	7	4	3通
成果	同窓名簿の更新 同窓会員のメールマガジン送付先の確認						

260人 - 夫婦14組 = 246通

## ホームページ Retpaĝo

担当 笹沼 一弘

## 【1】2009年度の活動報告

ドメイン管理について「ESPERANTO.JP」

- ・ワダックス社と契約して、管理・運用を継続中。年間費用は27,615円。

URL [www.esperanto.jp/](http://www.esperanto.jp/) または <http://esperanto.jp/officejo@esperanto.jp>

ドメイン運用について

- ・問合せ等のメールはほとんどなし。スパムメールもほぼ0。
- ・ホームページについては、内容を整理・精選し、古い情報はできる限り更新した。現在掲載している情報は次の通り。

\*リンク集(主要団体・地方会等)

\*各種情報(図書、メールマガジン・メーリングリスト、パソコンでのエスペラントの使用)

\*RHの紹介(案内・会則)

\*ネット学習(リンクを含む)

\*エスペラントミニ大学(発表資料(PDF)) 新規掲載

- ・会員専用のページ(RH-informiloj, Arkivo de La Harmonio)は、引き続き、トップページからリンクをはずし、その都度URLを変えるなどして運用している。

## 【2】2009年度の活動予定

ドメイン管理について

- ・現在の体制を継続。

ドメイン運用について

- ・現状の内容で、必要に応じて更新していく。

- ・各種情報に関しては、広く担当を募集して分担して制作したが、その後のメンテナンスができなかった。今後は、必要があれば、外部の適切なサイトへのリンクで対応する方向で考える。

- ・近日中に、メインページに以下の内容を追加して、アクセスの増加を図る。

\*メールアドレス(画像)

\*La Harmonio 最新号へのリンク

(終)

変更 全国協議会の開催周期、組織委員の任期

項目	現在	2011年1月より
全国協議会の開催	年1回開催	組織委員の任期に合わせ、開催します。 2011年3月の全国協議会は開催します。 その次は、3年後の2014年3月の開催となります。
組織委員の任期	毎年改選	3年毎に改選。 2011年3月に2011年～2013年任期の組織委員選挙を実施します。
	選挙投票権は、過去1年分の会費を払っている会員に与えられます。	選挙投票権は、過去3年分の会費を払っている会員に与えられます。 2011年3月の場合、2008～2010年の会費を払っている会員に与えられます。

<変更理由>

最近数年、組織委員は3人、全国協議会の参加者は4人で固定しており、審議内容は単調化しています。したがって、毎年する意味がなくなっています。

緊急議題があれば、組織委員の間でメールでの相談が可能です。

<会則の変更>

上記の変更に伴い、会則を次のように変更します。

第9条(全国協議会) 全国協議会は全会員の参加による本会最高の協議、議決機関である。  
(2) 定例全国協議会は、少なくとも年~~4回~~3年に1回開催される。臨時全国協議会は、組織委員会がこれを必要と認めたとき開催される。

第13条(組織委員会) 本会を代表し、全体的な視野から活動を指導・調整し、会の緊急事項について決定する機関として組織委員会を設ける。組織委員会は全国協議会に対して責任を負い、組織委員は全国協議会において選出される。組織委員の任期は原則として~~4年~~3年とする。

変更 会費の値下げ

現在	2011年1月より
一般会費	R H維持会費
LH電子版 2400円	・La Harmonio電子版 1200円
LH郵送 3600円	・La Harmonio郵送版 2400円
家族会費 1800円	・家族会費 600円

2011年以降の会費(2400/3600円)を支払い済みの方々には清算します。例えば2011年会費として2400円を支払っている場合、2011年・2012年の1200円×2年分支払いにします。

<変更理由>

インターネットのドメイン(ESPERANTO.JP)維持費用が3万円以下、La Harmonio電子版を選択される会員が増え、La Harmonioの印刷費用も減少しました。その結果、上記の会費で収支トントンの状態になりました。また、会費値下げを契機に、会費納入者の増加のための働きかけが可能となります。

<2011年度(2011年1月～12月)の予算の見込み>

収入	会費(円)		人	(円)
維持会費	1,200	35		42,000
維持家族会員	600	10		6,000
LH郵送	2,400	25		60,000
			計	108,000
支出	La Harmonio発行費用(4号分)			70,000
	インターネットドメイン維持			27,615
	財務局経費			10,000
			計	107,615
差し引き				385

## 変更 発行物をLa Harmonioに一元化

大澤孝明（奈良県生駒市）

現在	2011年1月より
次の発行物があります。 ・ La Harmonioは 会費納入者向け ・ 同窓会向け Informilo ・ メールマガジン	・ 広報物はLa Harmonioのみに一元化 します。 ・ La Harmonioを同窓会員（会費未納 者）も閲覧可能（ダウンロード可能） にします。 ・ La Harmonioの印刷版を、年1回、 全員（PDF会員や同窓会員を含む） に郵送します。

## &lt;変更理由&gt;

La Harmonio、同窓会向け Informilo、メールマガジンの継続発行、会費徴収を行っている。事務方の負担が大きいので、負担を低減します。

## &lt;実施&gt;

今年度（2010年度）は下記のとおり発行予定です。

	発行予定	会費納入者 La Harmonio 電子版 (30数人)	会費納入者 La Harmonio 印刷版 (20数人)	会費 未納入者 (約260人)
224号	2010年5月	PDF( 1)	郵送	PDF( 2)
225号	2010年8月		郵送	
226号	2010年11月	PDF( 1)	郵送	PDF( 2)
227号	2011年2月	PDF( 1)	郵送	PDF( 2)

- ・ PDF( 1) : La Harmonio 発行時にメールでお知らせし、ウェブページからダウンロードしていただきます。
- ・ PDF( 2) : La Harmonio 発行時にメールで知らせませんが、ウェブページからダウンロード可能です。
- ・ 郵送 : La Harmonio の印刷版を郵送します。  
225号は全員に印刷版を郵送します。約300部を印刷・郵送するため、4または8頁となります。

ウィーンに「エスペラント博物館」(Esperantomuzeo)があることは以前から知っていましたが、毎年のようにウィーンに来ていながら、これまで訪れる機会がありませんでした。この4月、仕事の合間に訪問する機会があったので、簡単に紹介します。

所在地はウィーンの中心部、王宮から歩いて5分ほど、内務省など政府機関がある Herrengasse 通りに面した建物の1階にあります。ドイツ語で Esperantomuseum と表示された入り口から奥へ入っていくと、ドアを入ったところにいくつかの博物館があり、一番右側にあるのがエスペラント博物館です。入館料3ユーロ（約380円）。英語・ドイツ語・エスペラントのパンフレットもあります。

博物館は、小さいながらも、写真やポスターのパネルと、書籍と、タッチパネル付きのスクリーンと、ヘッドフォンからの音声を組み合わせ、見学者の興味の方向と深さに応じて事実を知ることができるように工夫されています。私が行ったときには、「名詞は-o で終わり、形容詞は-a で終わり...」という説明がプロジェクタで壁面に投影されているのを若い女性が興味深げに見つめていました。

## 言語現象としてのエスペラント

この博物館は、エスペラントのみならず、500におよぶ他の計画語(planlingvo)の資料も保存しているので、哲学語、世界語、人工国際語など、言語という視点からの展示があるのはもちろんです。John Wilkins が哲学語を提唱した"Mercury"(1694)の原本があったのにはちょっと感心。エスペラントについても、写真でよく見る「第一書」(La Unua Libro)の実物を見た時には、久しぶりに旧友に会ったような気がしました。

## 社会現象としてのエスペラント

展示の構成のしかたの基本に、エスペラントを社会・歴史とのかかわり度とらえるという視点があるようです。ヒットラーがエスペラントを「ユダヤ人の世界制覇のための言語」と見なして抑圧したことは知られていますが、ナチスによるオーストリア併合下で、こ

のエスペラント博物館自体も閉鎖するよう命令されたことは初めて知りました。手書きの命令書(1938)の最後に“*Heil Hitler!*”(ヒットラー万歳!)と書いてあることに、歴史の生々しさを感じずにはいられません。

スターリンは、初期には弾圧の事実があからさまにならなかったことと、いわゆる「言語学論文」のなかで将来の国際語の実現を予言するかのような記述をしたことで、エスペランティストの側に錯覚が生まれ、それが悲劇のもとになったことは周知の通りです。

“*Teorio de Esperanto*”(1929)、“*Metropoliteno*”(1933)などの著作で頭角を現してきた Vladimir Varankin が30代半ばで突然消息を絶ったことは謎とされていましたが、後に公開された資料で1938年に銃殺されていたことが明るみに出ました。自分の運命も知らず、妻とともに写っている Varankin の写真が感慨をよびおこします。

#### エスペランティストにとってのエスペラント

博物館の入り口の近くに、ザメンホフの肖像画があり、ザメンホフの肉声をヘッドフォンで聴くことができます。“*La nun proponatan broŝuron la leganto kredeble prenos en la manojn kun malkonfido, kun antaŭe preta penso, ke al li estos proponata la neefektivigebla utopio.*”で始まる有名な一節です。まだエスペラントの音声に慣れていない人を意識してか、ずいぶんゆっくりとした調子で話しています。第2回世界大会(ジュネーブ、1906)のポスターと参加者の大きな記念写真も展示されています。

第1次大戦中、シベリアで抑留生活を送ったエスペラント詩人 Julio Baghy は、言葉が通じない中で、エスペラントの講習会を開いたり、手書きの新聞を回覧したことの展示もありました。エスペラントが抑留者にとって将来に希望をつなぐことばになるように、という Baghy の志が強く感じられます。時にセンチメンタルとも評される Baghy の作風の根本にある体験に思いが馳せられます。

歴史の一場面を提示した展示は、エスペラントの歴史をある程度知っている人にとっても、記憶をリフレッシュする機会になるでしょう。

#### ウィーンの地政学的位置

思えば、オーストリアも第2次大戦中にナチスの侵攻を受けた国です(ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」は、ザルツ

ブルク郊外にまでゲシュタポ(ナチスの国家警察)が進入してきた時のことを題材にしていました)。このエスペラント博物館が閉館命令を受けたのも同時代のことでした。

そして戦後は、東側と西側、2つの陣営の境界に位置したというウィーンの地政学的な位置が、歴史の動向に敏感にならざるをえないという、この国の事情の背景にあるのかもしれませんが。歴史上の出来事は過去のことや余所ごとではなかったはずですが、この展示にもそれが反映している、というのは穿ちすぎた見方でしょうか。

(余談ですが、20年ほど前、長距離バスでウィーンからチェコスロバキア(当時)に入る国境で、銃剣をもった兵士2名がどかどかとバスに入ってきてパスポートを集めていったときの物々しさは今でも記憶に残っています。地続きで国境を接している国の感覚は、島国の住人の実感からほど遠いのかもかもしれません。)

#### エスペラント博物館

この博物館は1927年に Hugo Steiner によって創設され、オーストリアの国立図書館の一部になっていました。1990年に“*Kolekto por Planlingvoj*”(計画語資料館)の機能が付加され、2005年に現在地に移転しました。年間の入場者は5000人ほど。現在は半官半民になっているようです。(当直の職員はエスペラントは Bonan tagon しか知らないし、英語もよく分からないということで詳しいことは分かりませんでした。私が行ったときには閲覧室は閉館していましたが、閉館の時間帯にはほかの職員もいるのかもかもしれません。以前に問い合わせの電子メールを出した時には、ちゃんとエスペラントで返事が来ました。)

以上、かなり偏った紹介になりましたが、ネット上にホームページがあり、収蔵資料の検索もできますので、興味のある方はご覧ください。

#### オーストリア国立図書館

[http://www.onb.ac.at/ev/esperanto\\_muzeum.htm](http://www.onb.ac.at/ev/esperanto_muzeum.htm)

#### エスペラント・ウィキペディア

<http://eo.wikipedia.org/wiki/Esperantomuzeo>

註：この博物館にはプロのエスペランティスト Herbert Mayer 氏が働いていません。大澤さんの訪問時はたまたま不在だったようです。(編集部)

[写真1]  
エスペラント博物館  
の入り口

入口のアーチの上の  
白い垂れ幕(右側)に  
ドイツ語で  
Esperantomuseum と  
書いてあります。



[写真2] エスペラント博物館の内部  
ポスターの展示が多いのも特徴です。  
その時代の雰囲気を感じられます。

## Pri Makura-kotoba “aŭonijoŝi” ĉe la 1300-jara datreveno de la ĉefurbiĝo de Nara

Takemori Hirotoŝi

(平城遷都 1300 年の今年、奈良時代に花開いた文学、万葉集、その中で使われた有名な枕詞、“あをによし”について、その意味について思いを馳せてみたいと思います。)

Tiu ĉi jaro estas la memora jaro de la 1300-jara datreveno de la ĉefurbiĝo de Nara, kaj diversaj eventoj okazas en la gubernio Nara.



Restaŭrita Daigokuden en la vestiĝo de Heijoo-Palaco, kiun la verkinto mem fotis en la 14-a de aprilo.

En Nara-epoko, floris diversaj kulturoj – literaturoj (Kojiki, Nihongi, kaj Manjoo-ŝuu k.t.p.), konstruaĵoj, budhismo-arto, k.t.p.

Manjoo-ŝuu estas la plej malnova ekzistanta antologio de utao<sup>noto1</sup> en Japanio, kompilita dum la lasta duono de la 7-a jarcento kaj la lasta duono de la 8-a jarcento. Ĝi havis ĉirkaŭ 4500 (tio estas tro mirinda nombro!) diversajn utaojn, kiujn versis Imperiestroj, nobeloj, burokratoj de malaltaj klasoj, landgardistoj, k.t.p.. Manjoo-ŝuu estis skribita per ĉinaj literoj, kaj ĝia stilo similas al ĉinaj klasikoj. Sed ĉiuj utaoj en Manjoo-ŝuu havas japanajn vortordojn, kaj ideografikajn aŭ fonetikajn aŭ kombinantajn esprimojn per ĉinaj literoj. Manjoo-ŝuu estas antikva utaaro, kiun oni daŭre ŝatas ankoraŭ nun.

Unu el famaj poemoj pri Nara-urbego estas jena utao de Ono no Oju en Manjoo-ŝuu

Originalo: 「青丹吉 寧樂乃京師者 咲花乃 薫如 今盛有」

Japanmaniere: 「あをによし ならのみよこは さくはなの

にほふがごとく いまさかりなり」<sup>noto2</sup>

(Aŭonijoŝi nara-no mijako-ŭa sakuhana-no niougagotoku ima sakarinari)



Foto en la 3-a de aprilo, najbare de la vestiĝo de Heijoo-Palaco.

Do, kio estas senco de tiu vorto “aŭonijoŝi”, kiun oni nomas “Makura-kotoba” ?

“Makura-kotoba” estis unu el la ĉefaj poeziaj rimedoj por poetoj en Manjoo-epoko kaj pli frue. Simplaj vortoj aŭ frazelementoj, kutime de kvin silabloj, asociis la rilatajn utaojn kun iuj aliaj fiksitaj vortoj aŭ frazelementoj. “Makura-kotoba” formis ĉenerojn rilatajn al signifo, asociado aŭ sono kaj provizis unu signifon, per kiu poeto povis aldoni profundon al siaj utaoj aŭ altigi la tonon de sia retorika stilo.

Dume “Makura-kotoba” aperis en fruaj poemoj en Kojiki kaj Nihongi, ilia uzo estis ĉefe fondita de Kakinomoto no Hitomaro en Manjoo-epoko. Oni taksas ke li muldis ĉirkaŭ duonon da “Makura-kotoba”. La vera signifo de multaj “Makura-kotoba” estis perdita, kaj ilia uzo iĝis nura konvencio.

“Aŭonijoŝi” estis uzata por modifi la vorton “Nara” (26 ekzemploj en Manjoo-ŝuu ) kaj “kunuĉi” (provincoj) (nur 1

ekzemplo), kaj ĝia vera signifo ne estas konata, sed du ĉarmaj opinioj estas konataj.

Opinio A: fama loko, kie oni produktas verdan teron, ekzemple malakiton, per kiu oni uzas kiel farbon.

Opinio B: belaj koloroj verdaj kaj ruĝaj, per kiuj oni uzas sur kolonoj kaj konstruaĵoj en palacoj kaj temploj.

Opinio A: baziĝis sur Fudoki<sup>noto3</sup> en Hitaĉi-provinco.

“Ĉiu tero havas verdan koloron, oni povas uzi ĝin kiel bonkvalita farbo. Ĝi nomiĝas “aŭoni” aŭ “kakicuni”. Laŭ la ordono de Imperiestra kortego, oni dediĉis ĝin al la Urbego. Tiu vilaĝo lokiĝas ĉe la fonto de rivero Kuni. (Fudoki en Hitaĉi-provinco)

Oni dubas ĉu verda tero estis produktita en Nara aŭ ne. Sed oni povas trovi tiun signifon en la ĝenerala vortaro en japanaj arkaismoj.

Opinio B estas populare konata opinio. Tamen la vortoj “aŭonijoŝi” ankaŭ estis uzataj en Kojiki, Nihongi, kaj aliaj utaoj en frua Manjoo-epoko, kiam ankoraŭ ne estis Nara-urbego, nur estis Nara-montaro.

Eble la unua skribmaniero “aŭonijoŝi” per literoj “青丹吉” estas la utao de Princino Nukata (la 17-a en Volumo 1 en Manjoo-ŝuu).

Tabelo. Fontoj kaj literaj skribmanieroj pri “aŭonijoŝi”

Fonto	Volumo -N-ro	Epoko	Loko	Sezono	Modifato	Litero
Kojiki	3-59	Nintoku (313 ~ 399)	Nara	Printempo	Nara	阿袁邇余志
Nihongi	-	Nintoku (313 ~ 399)	Nara	Printempo	Nara	阿烏珥予辞
(Fudoki)	-	~ 721?	Hitaĉi-provinco	?	?	(阿乎邇)

## ねこの手脳トレエスペラント部発

山口百合子（横浜）

Fonto	Volumo -N-ro	Epoko	Loko	Sezono	Modifato	Litero
Manjoo- ŝuu	1-17	Tenĉi (661 ~ 672)	Nara	?	Nara- monto	青丹吉
	1-29	Ĵitoo/ Mommu (690 ~ 707)	Oomi (Ŝiga)	Printempo	Trans Nara- monto	青丹吉
	1-79	710	De Asuka al Nara	Printempo	Urbego, Nara	青丹吉
	1-80	710	De Asuka al Nara	Printempo	Hejmo de Nara	青丹吉
	3-328	729	Dazaifu (Fukuoka)	Printempo	Urbego, Nara	青丹吉
	5-797	728	Cukuŝi (Fukuoka)	Printempo	provincoj	阿乎尔与斯

Noto1:

Utao estas japana poemo kun fiksitaj silaboj, kaj jenaj estas en Manjoo-ŝuu.

Mallonga utao (=Tankaŝ):5-7-5-7-7

Longa utao:5-7-5-7-5-7- . . . . 5-7-7

Sedooka:5-7-7-5-7-7

Bussokusekika:5-7-5-7-7-7

Noto2:

Nun urbo Nara  
per sia ruĝ' kaj verdo  
kulminas kune  
kun floroj bonaromaj  
en la prospera verto.  
("el manjoo" de Miyamoto Masao)

Noto3:

Fudoki estas geografia libro en Nara-epoko, kompilita en la jaro 713, laŭ la ordono de Imperiestrino Genmei.

最近出席者が減って少々寂しい会になっています。でも、全員がねこの手の会員であり、それぞれの事情を知っているので、その事情が解決すればまた戻ってくることはわかっています。ただ、大病の手術をして長期で休んだ人は出席することが負担になってきて、月一回の Kanto の時だけ参加するようになりました。大病で脳を何回も開けたことがある人も出席した時は楽しいけど、すぐ頭が真っ白になると言って、彼女も Kanto だけの参加になりました。生活費に困って70歳近くなり働きだした人も長欠ですが、お休みの日には出席しています。寝たきりになったお母さんの世話でねこの手にもめったに来れなくなった人も長欠です。義母の介護で長欠になった人もいます。でも、脳トレの会であり、ねこの手つながりの会です。長欠の後でも何事もなかったかのように参加できます。

他の地域にも訪れたと思いますが、先日ドイツからマリアがねこの手に来ました。彼女は Manfred と育子夫妻の紹介で、何年前か4人が PSI に参加した時、ハイデルベルグでお世話になった人で、昨年はメンバーの一人さぐっちゃんが UK の後ドイツで泊めてもらいました。メンバーの睦子さんとは料理つながりでメールのやりとりもしています。そういう縁のあるマリアが日ごろねこの手の話を聞かされていて、是非来たいということになったのです。

当日は丁度歌声喫茶の日で、定食を食べた後しばらく談笑の後、次のエスペランティストの所に行く時間になったのですが、その場に集ってきていた人達に彼女を紹介し、彼女が帰る前にまずエスペラントの歌を歌いました。歌声喫茶の日に時々歌ってきたので違和感なくみんな歌ってくれました。時間になり彼女が帰ろうとする時には Daŭru amikec' inter vi kaj mi と歌で送りました。彼女はとても感激したと思います。そして、必ずもどってくるので、その日は厨房に入って定食を作らせてほしいと。

ねこの手は今年で10周年になります。5月の総会の時みなさんにお渡しする予定で10周年記念誌を作成していますが、イラストを一手に引き受けてくれたのが脳トレエスペラントのメンバーで、絵手紙教室の先生の大島さんで、イラストのあちこちにエスペラン

トの言葉を散らばめていることに驚きました。ねこの手に沢山ある講座や同好会の中でも大きな存在ですので記念誌にぴったりかもしれません。彼女は長欠ですが、毎年いろんな国からエスペランチストがねこの手ハウスに来てくれることをとても喜んでます。

一般募集していないので段々メンバーが減っていくのは確かですが、この年になってストレスのない生き方が大切と思ってるエスペラントクラブですので、ぼちぼちいきます。

これまでは私の事情しだいでお休みしていましたが、今では完全にタイアした連れ合いがねこの手のスタッフにもなり、私の代わりに脳トレエスペラント講座をしてくれることもありますので、一層ゆとりを持って続けられます。



左より、筆者、マリア、さぐっちゃん

### 「自立支援の会グループねこの手」

横浜市南区にあるボランティア団体。エスペラント部は2007年始めに発足し、2007年の横浜での世界大会への参加、外国からのエスペランチストの歓迎など、活動されています。(編集部)

ホームページ

<http://members.ytv.home.ne.jp/nekonotehouse/index.htm>

## エスペラント界の行事

行事の詳細を知りたい方は編集部までお問い合わせください。

### EPA 関東エスペラント合宿

期日：5月21日(金)～23日(日)

場所：大本東京本部(東京都台東区池之端)

内容：「まったく初めて」から「会話クラス」まで5クラス。

連絡先：エスペラント普及会事務局 Tel 0771-22-5561

電子メール [officejo@epa.jp](mailto:officejo@epa.jp)

### 第59回東海エスペラント大会

期日：5月22日(土)～23日(日)

会場：あいち健康プラザ(愛知県知多郡東浦町)

申込・問合せ：484-0079 犬山市木津北ノ畑5-3 後藤好美

Tel 0568-61-2801, Fax 0568-61-9117

電子メール [yamadapiano@mac.com](mailto:yamadapiano@mac.com) (山田義)

### 北海道初夏合宿

期日：6月5日(土)～6日(日)

会場：柴田内科研修所(札幌市西区西野)

申込・問合せ：電話/FAX 0126-62-4636 (川合 由香)

電子メール [nordano@sea.plala.or.jp](mailto:nordano@sea.plala.or.jp)

### 第59回関東エスペラント大会

期日：6月5日(土)～6日(日)

会場：調布市文化会館たづくり(調布駅下車徒歩3分)

内容：関東連盟総会と懇親会、分科会、講演、歴史散歩など

参加費：一般3,500円

参加申込：郵便振替 00120-9-100201 関東エスペラント連盟宛

<http://members.jcom.home.ne.jp/verda/kantorenmei.htm>

### 第58回関西エスペラント大会

期日：6月5日(土)～6日(日)

会場：奈良県民文化会館小ホール

(近鉄奈良駅より徒歩5分)

関西大会の6月5日(土)

13:30～14:40に

ミニ大学を開催します。

(2頁参照)

内容：公開講演は中国西安エスペラント協会の王天義氏予定。  
分科会、コーラス、講演、Gaja Vespero など

参加費：4,500 円

問合せ：電話 090-9993-9858, Fax 0743-70-1667

電子メール nararondo @gmail.com

ホームページ <http://sites.google.com/site/naraesperanto/kek58>

第 6 回アジアエスペラント大会

期日：6 月 19 日(土)～23 日(水)

会場：ウランバートル(モンゴル)

ホームページ <http://mongolio.info/>

第 95 回世界エスペラント大会 (UK)

期日：7 月 17 日(土)～24 日(土)

会場：ハバナ(キューバ)

ホームページ

[http://uea.org/kongresoj/uk\\_2010.html](http://uea.org/kongresoj/uk_2010.html)

第 66 回国際青年エスペラント大会 (IJK)

期日：7 月 24 日(土)～31 日(土)

会場：Los Cocos(キューバ)

ホームページ <http://www.tejo.org/ijk/2010/>



IJK のエンブレム

第 97 回日本エペラント大会

期日：10月9日(土)～11日(月/祝日)

会場：長崎ブリックホール(長崎市)

ホームページ <http://esperanto.jp/jek10n/>

日本大会の LKK (現地大会委員会) のメンバーの盛脇様 (RH 会員) からの依頼により、ホームページのアドレスに RH 所有の esperanto.jp のドメインをお貸ししています。

大会テーマ：エスペラントは世界を変える、そして、あなたも！

Esperanto ŝanĝas la mondon, ankaŭ vin!

大会記念品：遠藤周作『沈黙』エスペラント訳

『長崎とエスペラント～長崎エスペラント運動史～』

参加費	7 月末日まで	8 月 1 日以降
一般	6,000 円	7,000 円
不在参加	3,000 円	

(参加費は事前支払いで、宿泊・食事などの費用は含みません。)

問合せ・参加申込み先

〒162-0042 東京都新宿区早稲田町 12-3 (財)日本エスペラント学会

TEL 03-3203-4581 FAX 03-3203-4582

電子メール [jek10n@jei.or.jp](mailto:jek10n@jei.or.jp)

郵便振替口座 00100-4-400372

「日本エスペラント大会」

第 98 回日本エスペラント大会

来年の日本大会は、韓国大会との合同で開催されます。

期日：2011 年 10 月 7 日～9 日

場所：大韓民国・ソウル近郊

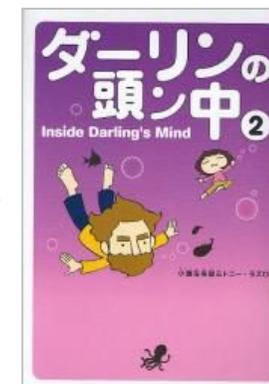


## 国内・海外情報

ダーリンの頭の中 2

小栗左多里&トニー・ラズロのマンガ「ダーリン」シリーズの最新刊『ダーリンの頭の中 2』(3月発行、950 円、税別)に「とうとうエスペラント」という話が載っています。6 頁に渡り、「ダーリン」こと、トニーさんがエスペラントを勉強したこと、エスペラントがどのような言語かが紹介されています。雑誌向けに 2007 年に描かれ、単行本になったものです。

トニーさんは 2007 年の横浜の世界エスペラント大会、2009 年の日本エスペラント大会(甲府市)にも参加されています。



© 2010 Oguri Saori  
& Tony László

## 井上ひさし氏ご逝去

小説家・劇作家の井上ひさし氏が4月9日に亡くなりました。

井上氏はエスペラントを支持しておられ、井上氏の1980年初演の戯曲『イーハトーボの劇列車』では、登場人物である宮沢賢治がエスペラントの講習を行っています。2007年8月の横浜での第92回世界エスペラント大会の際には、大会の名誉顧問の一人に就任されました。

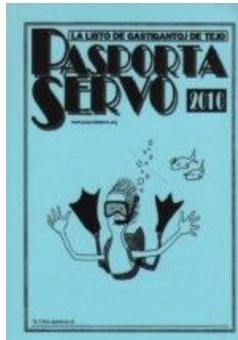
「週刊金曜日」4月16日号には、佐高信氏が「追悼 井上ひさしさん 山形、エスペラント、そして護憲」という追悼文を書かれています。井上ひさし氏のご冥福をお祈りします。

## パスポルタセルボ 2010

TEJO (世界エスペラント青年組織) の有名な民宿網 Pasporta Servo は1974年から始まり、36年の歴史があります。2010年リスト(右、税込1,365円)は、91ヶ国、1450名のgastigantoj(民宿世話人)が掲載されています。

2009年にインターネット版が立ち上がり、インターネットでもパスポルタセルボを利用することができます。

<http://www.pasportaservo.org/>



## UEAの会員数と年鑑会員

UEA (世界エスペラント協会) の2010年会員数は3月25日現在で団体会員(Aligitaj membroj)12,605名、個人会員(Individuaj membroj)5,713名、計18,318名。前者は加盟団体が申請する会員数で、後者は年毎に会費を支払う個人の数。UEAの個人会員数は1991年の8,000名をピークに減少傾向です。

日本の団体会員は948名(世界で3番目)、個人会員が402名(世界で2番目)。両会員の合計では世界でも2番目です。

UEAの個人会員には、購読会費と年鑑会費があります。前者は8000円で月刊のEsperanto誌と年鑑を受け取れます。後者は3200円と安いですが、年鑑のみです。今年から、個人会員を増やすため、年鑑会費でもEsperanto誌の電子版(PDFファイル)が受け取れるようになりました。その結果はどうでしょうか。

## RH同窓名簿



2003年11月にRH同窓名簿を作成し、更新しています。名簿はMicrosoft Excelファイルで作成。700名以上を記載しています。

個人情報保護の観点から一般公開はできませんが、同窓会の目的で使用する、この名簿の内容をチェックしていただくことを条件に、この名簿の電子ファイルをお渡しします。送付希望の方は編集部(下記)宛てご連絡ください。

## La Harmonio 発行予定

225号(8月発行) 原稿締切 7月31日

次号(225号)は約300部を印刷・発送します。事務上の都合で、4または8頁になります。そのため、通常原稿はお受けできませんが、行事やニュース等の短い情報はお受けします。(9頁参照)

226号(11月発行) 原稿締切 10月31日

通常原稿をお受けします。ご寄稿をお待ちしています。

La Harmonio 224号 2010年5月15日発行

編集発行 Rondo Harmonia (国際語教育協議会)

\* 組織委員会書記局

〒631-0815 奈良市西大寺新町 1-2-31-703 竹森浩俊

FAX 0742-36-4302 電子メール takeh703@deluxe.ocn.ne.jp

\* La Harmonio 編集部・財務担当

〒618-0071 京都府大山崎町大山崎尻江 13-8 森川和徳

FAX 075-955-1627 電子メール kz\_morikawa@yahoo.co.jp

\* ホームページ <http://esperanto.jp> 電子メール oficejo@esperanto.jp

\* RH情報誌のホームページ <http://esperanto.jp/info.html>

\* RH会費(2010年1月1日~12月31日)

2011年からの会費は値下げされます。(8頁参照)

RH会員一人の場合

一般会費(La Harmonio PDFダウンロード) 2,400円

一般会費(La Harmonio 印刷物郵送) 3,600円

ご夫婦ともRH会員の場合

一般会費(LH PDFダウンロード) + 家族会費 4,200円(2,400+1,800)

一般会費(LH 印刷物郵送) + 家族会費 5,400円(3,600+1,800)

\* 会費払込先 郵便振替口座 01050-3-11902 加入者名「国際語教育協議会」  
または 楽天銀行 マーチ支店 普通預金 3302340 「森川和徳」